

平成16年度 中小企業組合検定試験

## 問題と解答(7) 組合制度 ③

全国中小企業団体中央会

(前号から)

### 第3問

次の設問は、中小企業等協同組合制度及び商工組合制度に関するものである。設問1～設問6の中から3問を選択し、解答用紙の解答欄に4行以内で記述しなさい。

- 〔設問1〕 組合員は持分を共有することができないとする趣旨について述べなさい。
- 〔設問2〕 事業協同組合及び商工組合の總會における特別議決を要する事項を2つあげるとともに、その要件を述べなさい。
- 〔設問3〕 事業協同組合において、員外利用の制限を設けた趣旨について述べなさい。
- 〔設問4〕 役員選挙の方法の一つとして指名推薦制があるが、その選出方法について述べなさい。
- 〔設問5〕 理事の自己契約について述べなさい。
- 〔設問6〕 法定脱退の要件をあげるとともに、脱退の時期について述べなさい。

〔解答例〕

第3問

〔設問1〕

持分の共有を認めれば組合員としての権利義務の帰属が不明となり、組合運営

上不都合をきたす結果となるので、これを防止する必要からである。

〔設問2〕

總會の議事のうち、特に重要な事項に

については総組合員の半数以上が出席し、その議決権の3分の2以上の多数による議決をいう。代表的な事項に、定款の変更、組合員の除名などがある。

#### [ 設問3 ]

事業協同組合は、組合員に直接の奉仕をすることを目的として共同事業を行う事業体であるから、その利用者は本来組合員に限られるべきである。また、員外者に無制限に利用を認めると、組合員の利用に支障を生じ、組合員の事業利用権を侵害する恐れがある等からである。

#### [ 設問4 ]

役員選挙において、出席者の全員の同意がある場合に限り、投票に代わり行うことができる制度である。なお、被指名人を当選人とするか否かについても出席者全員の同意が必要である。

#### [ 設問5 ]

理事が組合と契約を締結する場合には、その理事は契約の締結につき理事会の承認を受けなければならない。その趣旨は、理事がその地位を利用して組合に不利な取引による損害を与えることを防止するためでもある。もし違反して理事会の承認を受けずに契約を締結した場合は、その契約は無効と解される。

#### [ 設問6 ]

組合員の意思の如何にかかわらず、法定された事項に該当するに至ったときに脱退することをいい、組合員資格の喪失、死亡又は解散、除名等がある。自由脱退が事業年度末に脱退することに対し、法定脱退はその事実が発生した時に脱退となる。

(次号につづく)